

◆ オプション検査のご案内 ◆

- ・オプション検査は別料金（個人負担）が必要です。
- ・ご希望の方は、健康診断の希望と一緒に番号でお申し込みください。（オプション検査は事前予約が必要です）
- ・集団健診と同時に受診することにより、下記の料金にてオプション検査を受診することができます。**費用は受診後、会社ご担当に支払い願います。**

- ※1. 健診会場での支払いはお断りさせていただきます。
- ※2. オプション検査は、血液検査受診の方のみとさせていただきます。
- ※3. オプション検査のみ税込料金となっております。ご注意ください。

検査項目	料金	内容
① 肝炎ウイルス検査 (B型・C型ウイルス)	3,500 円	<p>肝がんの9割は、B型・C型肝炎ウイルスが原因と考えられています。 (血液でB型・C型肝炎ウイルスの感染を調べます)</p> <p>次の方は、ぜひお受けください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●血液検査でGPT値が36以上の方 ●大きな手術を受けた方や、妊娠・分娩時に多量出血した方。 <p>(過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがある方は必要ありません)</p>
② 胃健康度検査 (ヘリコバクター・ピロリ菌、ペプシノーゲン検査)	3,500 円	<p>最新の研究結果により、採血による検査でペプシノーゲンとヘリコバクター・ピロリ菌を併用して調べることで、胃がんの早期発見の効果が上がることがわかってきています。 (血液で胃の健康度を調べます) ※胃がんの診断ではありません</p> <p>次の方は受診することはできません</p> <ul style="list-style-type: none"> ●明らかに症状や胃や十二指腸の疾患が強く疑われる方 または、食道、胃、十二指腸疾患で治療中の方 → 医療機関へ ●胃酸分泌抑制薬を服用中、または2ヶ月以内に服用していた方、腎不全の方(目安:クレアチニン値が3mg/dl以上) (ペプシノーゲン値が高くなり正しい検査ができません) ●胃を切除されている方 (ペプシノーゲン値が低くなり正しい検査ができません)
③ 腫瘍マーカー (消化器系) (CEA, CA19-9, AFP)	5,500 円	<p>腫瘍マーカーとは、体内にがんができると特殊な物質が血液中などに異常増加することがあり、それらを検出し、がんの存在、種類、進行の程度、治療の効果の判定を知る上で目印となるものです。</p> <p>これを測定することでがんを発見する手助けとなり、がんの症状経過を知ることができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CEA : 大腸やすい臓、胆嚢、胃、肝臓など消化器系にできるがんが作り出す糖たん白を測定します。 2. CA19-9 : すい臓や胆のう・胆管などのがんにおかされると、血清中に著しく増加する物質(CA19-9)を測定します。 (特にすい臓がんの特異な反応を示します) 3. AFP : AFPは胎児の血液中や妊婦の血液・羊水中に存在しており、健康な成人の血液中には存在していません。しかし、肝臓がんの患者の血液中には多く出てきますので、この物質を測定します。

検査項目	料金	内容
④ 腫瘍マーカー (前立腺) (PSA)	2,000 円	<p>PSA (前立腺特異抗原) は、前立腺組織の腺上皮から特異的に作られて分泌される、糖たん白です。前立腺がんが疑われるとき、まず最初に行なうべきスクリーニング (ふるいわけ) 検査として位置づけられています。また、がんの進行度を鋭敏に反映するため、前立腺がんの早期発見とともに病期の推定、治療効果測定や予後予測にも用いられています。</p> <p>1. PSA: PSA は前立腺組織の腺上皮から作られて分泌される糖たん白を測定します。</p>
⑤ 腎機能検査 (BUN・CRE・eGFR)	500 円	<p>腎臓にある糸球体がどれくらい老廃物を尿へ排泄する能力があるかを示しており、クレアチニン値をもとに年齢・性別から算出します。慢性腎臓病 (CKD) の早期発見・早期治療のための指標として注目されています。</p>
⑥ 膵機能検査 (AMY)	500 円	<p>膵管閉塞が起こると、アミラーゼの流れが阻害されるため血中アミラーゼの上昇、遅れて血中濃度も上昇します。その他膵炎や膵臓がんなど膵臓の病気でも変化が起こります。そこで血液のアミラーゼを測定することで、それらの兆候を読み取ろうというのがこの検査の目的です。</p>
⑦ 高尿酸血症検査 (UA)	500 円	<p>濃度が一定以上に高くなると結晶化し、足の親指や関節などにたまり、これが激しい痛み、すなわち痛風発作を引き起こすのです。また、腎臓にたまった尿酸結晶は腎炎を起こし、腎・尿路系において結石のもとになることもあります。</p>
⑧ 心不全リスク 検査 (NT-proBNP)	3,000 円	<p>NT-proBNP の数値が高いほど、将来の心疾患や脳出血、脳梗塞などになる可能性が高まります。福岡県久山町の研究で NT-proBNP が 400pg/ml 以上の方は 55pg/ml 以下の方と比べ、5 年後の上記疾患による死亡率が 4~6 倍になったという研究結果があります。早期に生活改善、検査、治療をすることで運転中の急性心疾患等による事故の防止に役立つことが考えられます。</p>